

I 新型コロナ対策

感染防止対策、医療提供体制の整備等

新型コロナ感染症患者を受け入れる医療機関等に対する支援・体制確保

医療機関等支援、検査・診療体制確保 総額 82億6,015万円

(主な事業)

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保 6,000万円【一部補正】
 - ・新型コロナウイルスワクチンを迅速かつ適切に接種するための体制確保
- 地域外来・検査センター設備整備・運営 6,900万円
 - ・かかりつけ医等からの紹介でPCR検査を受けられる体制の整備
- 新型コロナ感染症患者等の入院病床の確保 68億5,800万円
- 新型コロナ感染症患者受入医療機関等における設備整備 3億7,467万円
- 新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊施設確保・運営 5億5,800万円



新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場運営訓練（川崎市）

I 新型コロナ対策

事業の継続と雇用維持、経済活動の回復

中小企業の再建支援・雇用維持などのほか、経済活動の回復に向けた取組みを支援

○富山県中小企業リバイバル補助金 15億円【補正】

- ・通常枠（販路開拓等）：中小2/3(小規模3/4)・最大100万円
- ・特別枠(企業間連携、業態転換・事業承継)：中小3/4(小規模4/5)・最大200万円

○外国人材待機費用支援補助金 4,550万円【補正】

- ・県内中小企業等が海外から外国人材を受け入れる際に新型コロナウイルス感染症対策として必要なホテル等での待機費用を支援

○コロナ離職者再就職支援事業 2,800万円

- ・国のトライアル雇用助成制度と連携し、コロナ離職者の正規雇用を支援

○新型コロナに係る公共交通支援事業

11億9,761万円【一部補正】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている公共交通事業者を支援

○地元で泊まろう！県民割引キャンペーン事業

1億1,000万円【補正】

- ・県内の観光・宿泊事業者を支援するため、宿泊施設の県民割引キャンペーンを実施



交通事業者への支援を実施



県内宿泊施設への割引キャンペーン
(イメージ)

II-1 産業・経済の活性化

新型コロナの影響への経営支援

事業再建に向けた取組み、アフターコロナを見据えた新たな事業展開を支援

○富山県中小企業リバイバル補助金 15億円【補正】(再掲)

○新型コロナに係る公共交通支援事業 11億9,761万円【一部補正】(再掲)

<制度融資メニューの創設>

○DX推進資金 融資枠6億円

- ・デジタル技術を活用した設備投資を実質3年間無利子で後押し

○ビヨンドコロナ応援資金 融資枠200億円

- ・金融機関と連携して経営改善等に取り組む場合、信用保証料をゼロに引下げ

○経営改善サポート資金 融資枠40億円

- ・再生支援協議会や信用保証協会等の支援により作成した事業再生計画に基づいて経営を再建する場合、信用保証料をゼロに引下げ

○事業再編推進事業 500万円

- ・県内中小企業の経営資源を次世代に引き継ぎ、経営基盤の強化や、販路開拓、新事業展開につなげるため、「富山県事業承継支援戦略」を改定

○アフターコロナを見据えた

観光地域づくり支援事業 3,000万円

- ・旅行商品の開発や感染防止対策、デジタル技術の活用など新たな観光ビジネスに対し支援

○山小屋感染症対策緊急支援事業

1,550万円【補正】

- ・山小屋の持続的な経営に向けた、衛生用品購入や施設改修などの感染症対策を支援

II-1 産業・経済の活性化

新産業の創出、産業競争力の強化

成長戦略の策定や先端技術の活用等により、新産業の創出や産業競争力を強化

○「富山県成長戦略会議」開催事業 1,000万円

- ・新しい富山県の更なる発展に向けたビジョンや戦略を策定

○地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業

10億2,600万円

- ・県内産学官連携による医薬品産業の振興や専門人材の育成・確保を推進

○とやま成長産業創造プロジェクト推進事業 3,000万円

- ・県内企業の競争力強化のため、成長産業分野に関する研究会を開催
(グリーン成長戦略分野の研究会を新設)

○アルミ産業成長力強化戦略推進事業 4,400万円

- ・とやまアルミコンソーシアム研究開発プロジェクトの事業化
- ・アルミのリサイクル技術に係る研究開発の推進

○5G利活用推進事業 9,750万円

- ・5GとVRを組み合わせた新しい旅行スタイルの実証など

○富山県・オレゴン州友好提携30周年記念事業 2,400万円

- ・経済・人材交流等を目的に、企業関係者、大学生を含めた友好訪問団を派遣

○高岡テクノドーム機能拡充等事業 4,200万円

- ・高岡テクノドーム別館整備に向け、民間活力の導入可能性調査等を実施



鼻から投与する
インフルエンザワクチン



アルミのリサイクル技術に係る研究開発

II-1 産業・経済の活性化

起業、UIJターン・移住の支援

起業やUIJターン・移住の促進に向け、スタートアップやテレワークの取組み等を支援

○とやまベンチャービジネス支援事業 400万円

- ・ベンチャー企業の資金調達を「オール富山」で推進するため、「とやまベンチャービジネス支援協議会（仮称）」を設立し、必要な施策を検討・実施

○創業支援施設・UIJターン住居等整備事業 9億8,757万円【一部補正】

- ・富山市蓮町の旧県職員住宅を創業支援施設、UIJターン者等向け共同住宅に整備

○インキュベーション施設等活性化事業費補助金 400万円

- ・インキュベーション施設における起業家育成プログラム等の実施を支援

○とやまUIJターン起業支援事業 3,300万円

- ・本県に移住し、県内での起業を目指す若者等を対象に起業家育成プログラムを実施するとともに創業経費等を助成（対象者を東京23区在住者等から全国に拡大）

○富山サテライトオフィス誘致プロジェクト事業 2,170万円

- ・市町村、民間事業者と連携し、県外からのサテライトオフィスの誘致を図るプロジェクトを推進

○とやまでお試しテレワーク移住促進事業 1,000万円

- ・テレワーカーのお試し移住への支援やテレワーク体験ツアーの実施



創業支援施設・UIJターン住居イメージ

II-2 女性活躍の推進、子育て環境の充実

女性が活躍する環境づくり

女性活躍推進戦略を策定し、女性が活躍できる職場環境を実現

2030年までに女性の管理職割合
全国トップ20を目指す

○女性活躍推進戦略事業 1,000万円

- ・ 県内企業の実態調査を行い、少数精鋭の有識者等による戦略会議において女性活躍推進戦略を策定
- ・ 戦略策定と並行して、富山版えるぼし認定制度の創設を検討

○煌めく女性ネットワーク事業 590万円

- ・ 県内企業においてリーダーをめざす女性社員の相互交流と自己研鑽を図り、業種・職種の枠を超えたネットワークを構築
- ・ 新たに女性幹部養成コースを新設

○男性の家事・育児参画推進キャンペーン事業 500万円

- ・ 男女がともにワークライフバランスを大切にできる職場の風土づくりのため、職場対抗ワークライフバランス改革運動を実施



煌めく女性リーダー塾



男性の家事・育児参画イメージ

II-2 女性活躍の推進、子育て環境の充実

働き方改革、仕事と子育ての両立

テクノロジーを活用し、官民一体で働き方改革を推進

- テクノロジーを活用した働き方改革ラボ事業 800万円
 - ・ 県庁が率先してテクノロジーを活用した働き方改革を実施し、その成果を民間及び県内自治体へも波及させ、県全体の働き方改革を後押し
- Good!!Work&Lifeとやま促進事業 200万円
 - ・ 経営者等を対象に働き方改革フォーラムを実施するとともに、育児世代・介護世代など、世代別座談会を実施し課題を共有
- 働き方改革県民運動推進事業 450万円
 - ・ 県内企業に働き方改革県民運動に参加いただくとともに、働き方改革、女性活躍、男性活躍に係る新たな表彰制度を創設
- 富山版「プロフェッショナル・副業兼業人材確保プロジェクト」実施事業 4,500万円
 - ・ 県プロフェッショナル人材戦略本部を拠点に県内金融機関等と連携し、県内企業のプロフェッショナル人材や副業・兼業人材の活用を支援



II-2 女性活躍の推進、子育て環境の充実

安心して子育てできる環境の整備

こども病院、不妊治療、ひとり親家庭支援など安心して子育てできる環境を整備

○富山県小児医療等提供体制検討会開催事業 300万円

・富山こども病院構想を含めた小児医療提供体制を検討

○ひとり親世帯への県独自の生活支援給付金 1億9,430万円【補正】

・ひとり親世帯に生活支援給付金（3万円/世帯）を支給

○特定不妊治療費助成事業 9億216万円【一部補正】

・保険適用（R4年度～）までの間の国の制度拡充に対応するとともに、
県の上乗せ制度も拡充

○スクールソーシャルワーカー活用事業 2,622万円

・いじめ等の諸課題に対する未然防止、早期発見、早期対応のための相談、
支援体制を強化

○新川こども屋内レクリエーション施設調査検討事業 950万円

・新川文化ホール敷地内に整備予定の施設の基本計画策定に向けた検討を実施



充実した子育て環境（イメージ）



新川文化ホール

II-3 健康寿命の延伸、医療・介護の充実

データヘルス等を活用した健康増進

ICT等の活用による健康寿命日本一に向けた事業を展開

- 国民健康保険健康づくり推進事業 9,431万円
・市町村国保が保有する医療・健診・介護情報の総合的な分析による効果的な保健・介護予防事業の推進やICTを活用したオンライン保健指導を実施
- 「みんなで歩いてとやまを元気にしよう！」
ウォーキングファンドキャンペーン事業 500万円
・スマホアプリ「元気とやまかがやきウォーク」を活用し、県民の1日の歩数増加に向けたキャンペーンを実施
- とやま快眠習慣応援キャンペーン事業 450万円
・睡眠不足等の解消に向け、県民参加のキャンペーン等を実施
- 野菜をもう一皿！食べようキャンペーン事業 350万円
・野菜摂取量の目標（1日350g）達成に向け、スーパー・飲食店と連携したキャンペーンや野菜摂取促進に向けたセミナーを実施
- とやま「美味しい減塩」推進キャンペーン事業 150万円
・県民の塩分摂取量の減少に向け、県内企業と連携したキャンペーンや減塩の取り組みが必要な方への周知啓発を実施



スマホアプリ「元気とやまかがやきウォーク」

II-3 健康寿命の延伸、医療・介護の充実

病院経営の安定と医療水準の高度化

質の高い医療を持続的に提供するための取組みを推進

- 遠隔医療設備費補助金 1,238万円
・中山間地、へき地などの遠隔医療の実施に必要な機器等の整備を支援
- とやま地域医療連携ネットワーク推進事業 4,000万円
・大学病院、医療機関等と連携し、医師不足に直面する県内医療機関を支援
- ドクターヘリ運営推進事業 2億5,061万円
・ドクターヘリを運航するとともに、安全・円滑かつ効率的な運航のため、関係機関との調整等を実施
- 新型コロナ感染症患者等の入院病床の確保 68億5,800万円(再掲)
- 新型コロナ感染症患者受入医療機関等における設備整備 3億7,467万円(再掲)



ドクターヘリ



患者に寄り添う看護師（イメージ）

II-3 健康寿命の延伸、医療・介護の充実

医療・介護の人材確保と育成

高齢化社会を見据えた医師、看護師、保健師、助産師、介護職員の養成と確保

○感染症対策専門員養成事業 136万円

・新型コロナ感染症を含む院内感染防止のため、医療従事者等の研修を実施

○医学生への修学資金貸与事業 1億6,093万円

・県内従事期間等を返還免除要件とした修学資金を貸与し、医師を確保

○富山県立大学看護系大学院・専攻科設置準備事業 500万円

・看護系大学院と保健師・助産師を養成する専攻科設置に向けた準備を実施

○介護福祉士養成校魅力アップ事業 1,000万円

・介護福祉士養成校のPR強化を支援するほか、地域からの多様な介護人材の参入を促進するモデル事業を実施

○元気高齢者による介護助手制度の導入検討 530万円

・モデル施設での実証実験等による介護助手制度の導入検討

○ヘルスケア産業育成創出事業 5,000万円

・介護施設等の現場ニーズに基づく付加価値の高い製品の開発を支援

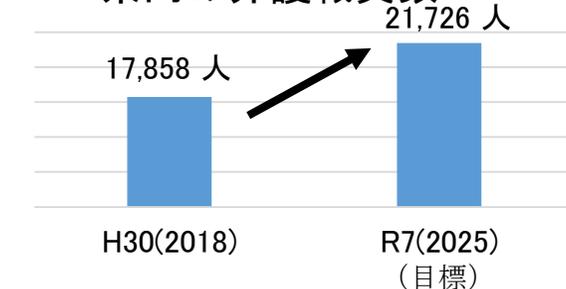
県内の看護職員数

(人口10万人当たり)



8年間で人口10万人当たり180.5人(22.6人/年)の増が必要と計画

県内の介護職員数



7年間で約4,000人(550人/年)の増が必要と計画

II-4 デジタル化・産学官連携・市町村連携の推進

行政のデジタル化、デジタル教育の推進

行政のデジタル化を推進するとともに、デジタル人材育成に向けた取組みを支援

○行政手続きオンライン化推進事業 726万円

・電子申請可能な行政手続きを拡充するとともに、県・市町村職員向けのシステム操作研修会を開催し、行政手続きのオンライン化を推進

○富山県共同利用型電子入札システムへの更新

R④～⑨債務負担2億3,813万円

・現在、県と富山市、高岡市が個別に導入・運用している電子入札システムを更新し、県内市町村と共同調達・共同利用を実施
(※令和4年度から運用開始)

○県立大学DX教育研究センター(仮称)整備事業 16億6,900万円

・県立大学にDX教育研究センター(仮称)を整備し、DXを担う人材育成とDX分野の研究強化を図る(供用開始：令和4年度)

○データサイエンス連携推進事業 2,300万円

・富山大学と連携し、県内での産学官連携によるデータの利活用の取組みやデータサイエンス教育を推進



県立大学DX教育研究センター(仮称)
(イメージ)

II-4 デジタル化・産学官連携・市町村連携の推進

ワンチームとやまの推進

県・市町村の連携協力体制を強化し、行政課題の解決に向けた取組みを推進

○「ワンチームとやま」連携推進事業 100万円

- ・「ワンチームとやま」連携推進本部の運営
- ・県・市町村連携による政策の推進

<当面の連携項目>

- 1 有害鳥獣の市町村による連携捕獲の推進
- 2 県単医療費助成制度のあり方検討
- 3 ゼロカーボンシティ富山の実現
- 4 防災・危機管理体制の連携・強化
- 5 自治体行政のデジタル化



1/19 「ワンチームとやま」連携推進本部会議

令和3年度予算

○災害廃棄物処理体制強化促進事業 500万円

- ・大規模災害時に発生する災害廃棄物を迅速に処理するため、初動対応で最も重要とされる仮置場の設置・運営訓練を実施
(連携推進項目「防災・危機管理体制の連携・強化」の一環として実施)

○富山県共同利用型電子入札システムへの更新 R④～⑨債務負担 2億3,813万円(再掲)

- ・市町村との共同利用型システムへの更新により、市町村の経費の縮減や事業者の利便性を向上
(連携推進項目「自治体行政のデジタル化」の一環として実施)

II-5 農林水産業の振興、持続可能な地域づくり

稼げる農林水産業の実現

県産農林水産物等のブランド化や販路拡大、生産性の向上による稼げる農林水産業の実現

○地産地消ポイント制度事業 6,800万円

- ・農林水産物の需要喚起に向け、県産品購入ポイント制度に加え、地産地消推進飲食店の利用で応募できるプレゼント企画（食事券等）の実施

○とやまの農林水産物輸出促進事業 5,536万円

- ・オンラインでの海外ビジネス研修やバイヤーとのマッチング、輸出産地の計画策定と販売体制構築の支援、伏木富山港を利用した物流構築など

○とやま型スマート農業推進事業 1,819万円

- ・スマート農業の普及に向けた実証やスマート農業普及センターでの農業高校生等を対象としたスマート農業技術を駆使できる担い手の育成など

○「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業 2,840万円

- ・三大都市圏での「富山のさかな」を使用したメニューを提供するブッフェフェアの開催や首都圏等での水産見本市出展による販路開拓支援など



農業用ドローンによる農薬散布



水産見本市イメージ

II-5 農林水産業の振興、持続可能な地域づくり

中山間地域の活性化

地域活性化に向けて住民の話し合いを進めるとともに、デジタル技術やテクノロジーなどを活用し、中山間地域における課題解決を支援

○集落支援推進事業 2,187万円

・中山間地域の話し合い支援や個別相談対応、情報収集等の集落支援事業を強化するため、**地域コンシェルジュを増員（1名⇒4名）**

○中山間地域「話し合い」促進事業 800万円

・中山間地域のアクションプラン策定に向けた住民の話し合いに係る活動を支援（支援額等を拡充）

○新たな地域づくり展開促進実証事業 100万円

・県内の地域づくり実践者によるネットワーク組織の設置

○中山間地域ドローン物流実証事業 800万円

・ドローンを活用した物流について、勉強会を踏まえた実証実験を実施

○遠隔医療設備費補助金 1,238万円(再掲)

○中山間地域等買い物サービス総合推進事業 900万円

・中山間地域等における民間提案を活かした買い物サービスの実証

○中山間地域交通網維持活性化支援事業費補助金 800万円

・個人所有車両を活用した輸送サービスを住民参加型交通モデルとして新たに支援

地域コンシェルジュ4名(3名増)・職員



市町とともに事前調整など

【地域の話し合い】…旧小学校区単位

○4～5回のワークショップ

○1日体験(拡充)

※支援額 40万円程度/地区(5万円増)
(専門家派遣などの経費)

話し合い支援イメージ



ドローン物流のイメージ

II-5 農林水産業の振興、持続可能な地域づくり

安全・安心な地域づくり

誰もが、いつまでも、安全で安心して暮らせる地域の基盤づくりを推進

○地域防災力向上支援事業 3,300万円【一部補正】

- ・災害の激甚化等に対応するため、自主防災組織が整備する防災資機材の導入等を支援

○鳥獣被害防止総合対策事業 5億1,249万円【一部補正】

- ・農地等への鳥獣の侵入防止対策に係る新技術の実証をはじめ、イノシシの捕獲の強化や捕獲イノシシの処分施設の整備を支援

○地域自殺対策ネットワーク構築事業 454万円

- ・県自殺対策推進センターに関係機関とのつなぎ・調整を行う有資格者をコーディネーターとして配置

○DV被害者等困難を抱える女性の自立支援パイロット事業 1,120万円

- ・困難を抱える女性に対する居場所の提供や自立支援等に取り組む民間シェルター等へ支援

○性暴力被害ワンストップ支援センターとやま運営事業 2,500万円

- ・常勤支援員を増員するなどセンターの支援体制を強化



自主防災組織による訓練
(イメージ)



イノシシの捕獲の強化
(イメージ)

II-6 スポーツ・文化の振興、多様な人材の活躍、SDGsの推進

スポーツ・文化、伝統工芸の振興

スポーツ・文化に親しむ環境づくりの推進や、伝統工芸品の販路開拓等の支援

○富山県武道館整備事業 2億460万円

・本県の武道やスポーツの振興、地域活性化、防災力の向上に資する富山県武道館の実施設計とPFI導入の可能性調査を実施

○ナショナルサイクルルート推進事業 1,840万円

・「富山湾岸サイクリングコース」のナショナルサイクルルート候補の選定を受け、受入環境や走行環境等の一層の充実に向けた検討・整備を実施

○「新しい生活様式」対応型舞台芸術活動支援事業 900万円

・新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで開催する舞台芸術公演の施設使用料を一部補助

○「伝統工芸文化継承・産業振興プログラム」推進事業 300万円

・伝統工芸の振興に向け、「KOGEIミライ会議（仮称）」を設置し、人材育成から輸出促進まで一気通貫で支援するためのプログラムを検討するとともに、新たに「とやま伝統工芸フェア（仮称）」を開催

○とやま伝統工芸 REAL&EC 展示販売事業 in China 2,100万円

・中国北京市で伝統工芸展を開催するとともに、越境ECサイトに本県特設店舗を出店し、リアルとネットの双方向から海外販路開拓を支援



富山湾岸サイクリング



伝統工芸品展示会の様子 (R1上海) 17

II-6 スポーツ・文化の振興、多様な人材の活躍、SDGsの推進

SDGs・多様性の推進

SDGsの達成に向けた取組みや県民ひとりひとりが活躍できる社会づくりを支援

○県民総参加のSDGs推進事業 770万円

- ・「SDGs宣言」の募集のほか、市町村や企業等のSDGs普及啓発事業を支援

○とやま版グリーンイノベーション推進事業 200万円

- ・カーボンリサイクル等を推進するため、産学官が連携した研究会等を開催

○プラスチック容器削減・転換推進事業 550万円

- ・スーパー等を対象にノートレイやバイオマス代替容器等への転換を推進

○エコな配達推進事業 150万円

- ・県民・事業者・行政が連携協力して宅配便の再配達を減らす取組みを推進

○企業参画型エシカル消費PR事業 200万円

- ・エシカル消費浸透のため、包括連携協定締結企業と啓発イベント等を開催

○「とやまワカモノ・サミット(仮称)」開催事業 200万円

- ・若者からの政策提案と知事との意見交換を行うフォーラムを開催

○特例子会社等設立支援事業 650万円

- ・障害者雇用の拡大・定着のため、特例子会社等の設立経費に対して補助



スーパー等における食品トレイ削減のイメージ
白色トレイ ⇒ トレイを使わない方法(ポリ袋等)、
紙・バイオマストレイへの転換 など

II-7 教育の充実など人材育成の推進

初等・中等教育の充実

少人数教育や課題解決型学習、地域社会と連携した教育等を推進

<少人数教育推進事業 2億2,655万円>

- ・国より2年先行して35人学級を実施
(R3は、小学校3、4年生で実施、R5年度には全学年で実施)
- ・少人数学級と少人数指導を組み合わせた効果的な少人数教育を推進

■本県の少人数教育のスケジュール

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
現行	35人	35人	35人 選択制		40人	40人	35人 選択制	40人	40人
<R3>		35人 (国対応)	35人 (本県先行)		40人	40人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ↓ 現行制度を継続 </div>		
<R4>			35人 (国対応)	35人 (本県先行)	35人	40人			
<R5>				35人 (国対応)	35人 (本県先行)	35人			
<R6>					35人 (国対応)	35人 (本県先行)			
<R7>						35人 (国対応)			

< >
 小学校3年生～中学校3年生における
 少人数指導の継続実施

※国は、R3に小2を35人として、以降年次進行し、R7に全学年で実施

○スクール・サポート・スタッフ配置
3億3,103万円

- ・サポート人材を全公立学校311校に配置

○地域部活動推進事業 830万円

- ・休日部活動の地域移行に向けた実践研究
- ・スポーツ・芸術文化活動に貢献する企業の登録・表彰制度の創設に向けた検討

○県立学校プロジェクト学習推進事業

1,200万円

○ICT教育推進事業 9,087万円

- ・オンライン教育等、ICTの効果的な活用に向けた推進体制の整備等

○私立高等学校生徒奨学補助金

1億2,203万円

- ・教育費負担軽減のため、授業料や入学時納付金を減免（年収590万円未満の多子世帯へ支援拡充）

II-7 教育の充実など人材育成の推進

高等教育、リカレント教育の充実

県内大学への進学率の向上やビジネスパーソン、シニア層等のスキルアップを支援

○とやま学生居住支援事業 360万円

・県内大学に進学する県内在住の子弟を対象に、地域貢献活動参加等を条件として、家賃の一部を支援

○県営住宅を活用した学生居住支援モデル事業 273万円

・県立大学の学生を対象に、地域貢献活動参加等を条件として、県営住宅の空き室を提供

○県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業 540万円

・社会のデジタル化推進や社会人の学び直しのニーズに応じ、オンラインによる教育プログラムを提供

○リカレント教育等産学官連携推進事業 305万円

・「富山県リカレント教育等産学官連携推進会議」の開催
・リカレント教育の普及啓発を図るためのリーフレットの作成

県内大学進学
(県内出身者 &
自宅外居住)



月1万円
助成

県

地域貢献活動参加



実績報告

とやま学生居住支援事業イメージ

II-8 観光振興など選ばれる県づくり

観光需要の回復と高付加価値化による誘客強化

感染拡大防止と観光需要回復の両立を図りつつ、国内外からの誘客及び消費拡大を促進

○地元で泊まろう！県民割引キャンペーン事業 1億1,000万円【補正】(再掲)

○ウェルカム富山県キャンペーン事業 5億8,000万円

・宿泊者に対する特産品等の特典付与の継続、近隣県民向けの宿泊割引キャンペーンの実施

○「立山黒部」観光需要回復支援事業 9,000万円

・観光需要回復に向け、「立山黒部」50周年記念事業や県民キャンペーン等を支援

○黒部ルートを含む旅行商品企画運営事業 1,000万円

・黒部ルートの一般開放・旅行商品化(R6)に向けて、旅行商品の企画運営業務を委託

○アフターコロナを見据えた観光地域づくり支援事業 3,000万円(再掲)

○外国人向けAIチャットボット導入事業 2,500万円

・AIチャットボットを県下全域で導入し、デジタルツールを活用した観光サービスを整備

○ビジネスジェット誘致強化事業 330万円

・海外のビジネスジェット利用者に向けた富山きときと空港と観光資源のPR活動

○太閤山ランド魅力向上調査事業 3,000万円

・ICT技術等の活用を通じて、子どもから大人までが楽しめ、夢がありわくわくする拠点となるよう調査・検討を実施



ウェルカム富山県キャンペーン



雪の大谷

11-8 観光振興など選ばれる県づくり

空港・港湾、公共交通の整備

富山きときと空港及び伏木富山港の活性化、公共交通の整備や維持確保を支援

○富山きときと空港国内線の利用促進 6,860万円

- ・国内線（羽田便・札幌便）を利用した旅行商品の造成に対する支援など

○富山きときと空港運営あり方調査事業 1,800万円

- ・新型コロナ収束後における空港運営のあり方について調査検討を実施

○伏木富山港の機能強化 3億1,500万円

- ・国際物流ターミナル ガントリークレーン更新（総事業費：19億円）
- ・伏木外港 野積場拡張など

○新型コロナに係る公共交通支援事業

11億9,761万円【一部補正】（再掲）

○城端線・氷見線LRT化調査事業 1,734万円

- ・LRT化など新しい交通体系の検討の一環として、事業費等の調査を実施



富山きときと空港



国際物流ターミナル ガントリークレーン



万葉線

II-8 観光振興など選ばれる県づくり

城端線・氷見線 L R T 化調査事業 1, 734 万円

沿線 4 市（高岡市、氷見市、砺波市、南砺市）、J R 西日本とともに検討

○需要予測調査の実施

- ・令和 2 年度に沿線 4 市で検討されたまちづくり等の内容に基づく需要予測調査を実施

○事業費調査の実施

- ・L R T 化、直通化する場合の事業費について調査を実施

○有識者への相談

- ・事業費調査の内容について有識者に意見を伺う

○検討会の開催

- ・各種調査及び各市における検討結果をもとに、今後の方針等を協議



ライトレール

II-8 観光振興など選ばれる県づくり

令和の公共インフラ・ニューディール政策

災害から県民の生命等を守るため、社会資本整備により県土強靱化と地域経済の活性化を目指す

14か月予算 ◆公共事業 889億円(R2比 2.9%増) デフレ脱却の起爆剤となったH25の865億円を上回る
◆主要県単独事業 179億円(R2比 5.6%増) 大雪対策やインフラの修繕を積極的に実施

- ・ 県総合計画等における河川堤防等整備や道路防災対策等の達成目標を1年前倒し
- ・ 県農業農村整備実施方針による防災重点ため池等の整備など、R4以降着工予定箇所の一部を1年前倒し

治水・海岸・土砂災害対策

- 河川・海岸・砂防事業 104.1億円
 - ・ 堤防、離岸堤、砂防堰堤の整備など
- 農地防災事業・治山事業 106.8億円
 - ・ 防災重点ため池、治山施設の整備など

インフラの老朽化対策

- 定期点検及び計画的な修繕・更新 142.0億円
 - ・ 橋梁、トンネル、ダム、都市公園など

物流と生活を支える社会資本整備

- 道路ネットワークの整備 61.5億円
 - ・ 県道高岡環状線、国道415号富山東バイパス、
県道宇奈月大沢野線(魚津市) など
- 安全・安心のみちづくり 174.3億円
 - ・ 歩道整備、消雪施設新設、道路除雪、
道路の防災対策 など
- 港湾・漁港の整備 30.7億円
 - ・ 臨港道路伏木外港1号線、漁港施設の高波対策 など

県有施設や県立高校の設備整備等の前倒し

- ・ 県立高校職業科の設備更新の前倒し など



橋梁の老朽化対策
(県道富山高岡線藤子橋の損傷状況)



ため池の整備例(R2 大菅沼地区)24

社会資本整備の主な箇所

東海北陸自動車道の4車線化の推進 (中日本高速道路(株))

南砺スマートIC～小矢部砺波JCT
五箇山IC～福光IC、白川郷IC～五箇山IC



国直轄事業の推進

○国直轄事業の推進

富山高山連絡道路(猪谷楡原道路, 大沢野富山南道路)
富山外郭環状道路(豊田新屋立体)
高岡環状道路(六家立体)
国道8号(入善黒部バイパス, 倶利伽羅防災)
伏木富山港(新湊地区中央岸壁の大水深化 など)
神通川、利賀ダム、立山砂防、
国営農地再編整備事業(水橋地区) など



治水・海岸・土砂災害対策

○河川・海岸・砂防事業

- ・河川 地久子川(高岡)、鴨川(魚津)
護岸の修繕や浚渫・伐木 など
- ・海岸 富山海岸(富山) など
- ・砂防 西上谷(富山) など

○農地防災事業・治山事業

- ・農地防災 庄川左岸四期(砺波ほか)
棚山西池(朝日) など
- ・治山 虫谷(立山)地すべり対策 など



地久子川(H24.7豪雨による浸水)



ため池の整備例(R2 大菅沼地区)

インフラの老朽化対策

○定期点検及び計画的な修繕・更新

- ・橋梁、トンネル、河川管理施設、ダム、砂防関係施設
都市公園、下水道施設などの修繕・更新
- ・県道富山魚津線 常願寺川今川橋の架替(富山)



橋梁の老朽化対策
(県道富山高岡線 藤子橋の損傷状況)

物流と生活を支える社会資本整備

○道路ネットワークの整備

県道高岡環状線、国道415号富山東バイパス
県道宇奈月大沢野線(魚津) など



県道高岡環状線

○安全・安心のみちづくり

- ・歩道整備 県道砺波小矢部線(小矢部) など
- ・消雪施設 県道大家庄上飯野線(入善) など
- ・斜面对策 国道156号(砺波-南砺) など

○港湾・漁港の整備

- ・港湾 臨港道路伏木外港1号線(高岡) など
- ・漁港 新湊漁港(射水)の高波対策 など

○都市基盤の整備

富山駅付近連続立体交差事業(富山)
(都)牛島蛭川線(富山)、(都)戸出東西中央線(高岡) など



富山駅付近連続立体交差事業

○市街地再開発事業

中央通りD北地区(富山)、高岡駅前東地区(高岡) など

○農地整備事業

高橋地区(朝日) など